パブリックコメントの結果について

炭酸飲料の日本農林規格の改正案

- 1. 改正案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 1件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2. 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~H28.3.18)

炭酸飲料の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対す る考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
添加物		
添加物の基準を緩めないで欲しい。人工甘味料(特にアセスルファムK、スクラロース)は不味いので認めないで欲しい。炭酸飲料ではないが、果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。	1	現在の添加物のポジテスと削しれて、①食品、②食品をJAS規格のリストでは、②なののでは、②なのをJAS規格のリスを削しれる。のをJAS規格のリカーでは、②なのではないのでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のである。など、ののは、ないのではないのではないのではないのではないのではないないのではないのではないの
異物		
これまでのJAS規格においても異物の 規定を削除しており、理由として、食品 衛生法に規定されているためと聞いた。 しかし、食品衛生法では、「人の健康を 損なうおそれがあるもの」という条件が あるため、JAS規格では規定すべきであ る。	1	人の健康を損なうおそれがある もの、ないものを含め、異物の混 入は都道府県等が監視指導を実施 していることなどから、JAS規格に 異物混入に関する基準を設ける必 要性は低いとして、順次削除して いるところです。

豆乳類の日本農林規格の改正案

- 1. 改正案に係る意見・情報の募集の概要 (募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 2件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2. 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~H28.3.18)

豆乳類の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対する 考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
添加物		
添加物の基準を緩めないで欲しい。人工甘味料(特にアセスルファムK、スクラロース)は不味いので認めないで欲しい。豆乳類ではないが、果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。着色料は、現行より厳しくすべきである。特にカラメルⅢは認めないで欲しい。	1	現在の添加物のポジティ文と前とは、①食品衛生法上安からJAS規格のリストでは、②ないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのである。といるとはいるである。ないではないのではないであるである。ないではないのではないのであるものではあいるがではないのであるものではあいるものであり、添りないるものであり、添りないるものではあるものではあるものではあるものではあるものではあるものではあるものではあるものではありまずを緩関が使用であるものを基準を終めるものではあります。となります。
異物		
これまでのJAS規格においても異物の 規定を削除しており、理由として、食品 衛生法に規定されているためと聞いた。 しかし、食品衛生法では、「人の健康を 損なうおそれがあるもの」という条件が あるため、JAS規格では規定すべきであ る。そもそも、異物ときょう雑物はどう 違うのか。また、規格によって「きょう 雑物がないこと。」と「きょう雑物がほ とんどないこと。」があるのはなぜか。	1	人の健康を損なうおそれがある もの、ないものを含め、異物の混 入は都道府県等が監視指導を裏格に していることなどから、JAS規格に 異物に関する基準を設けるして、 異物にとして、順次削除して いるところです。 なお、異物とは製造等の過程しいるお、異物とは東した原材料に自己 から侵入等した原材料に由まる不要物(野菜の基準は、来 する不要物(野菜の基準は、応 ます。きょう雑物の基準は、応 で規格ごとに設定しています。

窒素・たんぱく質換算係数を6.25から 5.71に変更する妥当性に関する科学的根 拠が示されておらず、変更には疑義があ ります。豆乳は、牛乳とともに貴重な液 状のたんぱく質含有飲料で、たんぱく質 は重要な栄養成分であり、実際の含有量 に変化がないにもかかわらず、換算係数 の変更により表記上約1割減少すること となります。豆乳類の窒素・たんぱく質 換算係数6.25は、豆乳JAS制定時から30 年を越える歴史があり定者した係数であ ること、並びによりたんぱく質量の真値 に近いとされるアミノ酸分析法での窒素 ・たんぱく質換算係数からの計算(現行 のJones係数を基にした牛乳の窒素・た んぱく質換算係数6.38との相対的比較) では、豆乳(大豆)の窒素・たんぱく質 換算係数は6.25が近似値であること、さ らにCodexにおいて大豆の窒素・たんぱ く質換算係数5.71そのものの妥当性につ いて議題にあがっていること、などから 6.25から5.71への変更の科学的妥当性が 示されていない状況です。この状況で は、JAS法にも記載されている「科学的 知見に基づき制定」に相応しているとは 言えず、少なくとも、食品表示法の移行 猶予期間にかかわらず、従来の係数(6. 25)を使用できることが妥当と考えま す。

今回の改正は、強制法規と任意 規格という食品表示基準とJAS規格 の関係にかんがみ、強制法規であ る食品表示基準に任意規格であるJ AS規格を合わせることとしたもの です。

なお、食品表示基準は日本食品標準成分表を引用したものと承知しています。

畜産物缶詰及び畜産物瓶詰の日本農林規格の改正案

- 1. 改正案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 1件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2. 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~H28.3.18)

畜産物缶詰及び畜産物瓶詰の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対する考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
添加物		
人工甘味料(特にアセスルファムK、スクラロース)は不味いので認めないで欲しい。畜産物缶詰等ではないが、果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。	1	現在の添加物のポジティさと削いたは、①食品衛生法上安全と削いたものをJAS規格の明本が開発が発生を発生の関係するによる。 ことは、②食品衛生法上安全の制度のでは、②むされたものをJAS規格の利力を引動を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を
異物		
これまでのJAS規格においても異物の 規定を削除しており、理由として、食品 衛生法に規定されているためと聞いた。 しかし、食品衛生法では、「人の健康を 損なうおそれがあるもの」という条件が あるため、JAS規格では規定すべきであ る。そもそも、異物ときょう雑物はどう 違うのか。また、規格によって「きょう 雑物がないこと。」と「きょう雑物がほ とんどないこと。」があるのはなぜか。	1	人の健康を損なうおそれがある 人の、ないものを含め、異物を実施 しているとなどから、JAS規格に 異物に関する基準を設けして 要性は低いです。 要性は低ろです。 なお、侵入等したのを指しれる がいるとは製造等のを指したの なおいら侵入等した原材料に をはいるで、来しますの をおいるでは、 なおいるでで、 ないるで、 ないるで、 ないるでで、 ないるで、 ないないな、 ないないな、 ないないな、 ないないな、 ないないな、 ないないな、 ないないな、 ないないないな、 ないないないないないな、 ないないないないないな、 ないないないないないなないな、 ないないないなないなないなななななななななな

煮干魚類の日本農林規格の改正案

- 1. 改正案に係る意見・情報の募集の概要 (募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 7件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2. 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~H28.3.18)

煮干魚類の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対す る考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方			
第3条 添加物	第3条 添加物				
人工甘味料 (特にアセスルファムK、スクラロース) は不味いので認めないで欲しい。煮干魚類ではないが、果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。	1	現在の添加物のポジティさとされたは、①食品衛生法上安全と削しれたものをJAS規格のリスというでは、②は一番が開展がある。 には、②食品衛生法上ストから別様のをJAS規格のリスとのをJAS規格のリストのを別様のである。 のため、一部では、一般のでは、は、一般のであるでは、のためのでは、一般のであるでは、一般のであるであり、一般のであるがあり、一般のである。 本によった。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。 本にな。			
煮干魚類に使用される添加物は、必要 最小限とし、酸化防止を目的としたもの に限るべき。例えば、添加物である着色 料や香料等を含むと、色沢、香味の判定 に影響を与え、煮干魚類の公平な格付け の妨げになる可能性がある。	2	今回、引用するコーデックスー 般規格では、使用が妥当な添加物 の基準として、①使用により消費 者に誤解を与えないこと、②消費 者を欺くため品質等を変えるもの ではないこと等と規定されて色沢いこと等と規定されては、色沢 す。煮干魚類にあっては、色料、 香味を変化させるために着色料、 香料等を使用することは、これら の基準に抵触するものであり、 懸念にはあたりません。			
国産食品の信頼はJAS 規格と国内食品産業の努力で培われてきたものであり、 JAS 規格の国際規格への整合は不要と考えます。中でも煮干は和食の味を支える「だし」の重要な素材です。煮干の品質、安心等を守るJAS 存続を要望しま	1	今回の改正は使用可能な添加物 を国際規格に合わせるものではな く、「添加物の使用が必要かつ最 小限であること」との考え方を導 入するものです。こうした考え方 の下で添加物が使用されることに			

す。		よって、煮干魚類の品質と安心に 寄与すると考えます。
昨年開催された「第1回煮干魚類の日本農林規格の確認等の原案作成委員会」では、「食品添加物は改正案の適用に当たり困難な点があることから、現行どおりとする」と議決しているにもかかわらず、今回の提案がなされたことは大変不可解です。経過及び判断理由の明確な説明と慎重な議論を要望します。	1	今回の改正に当たっては、原案 作成後、改めて業界団体と協議を 重ねた結果、添加物の使用量の記 録の方法ついて理解が得られたこ とから、パブリックコメント案と して再掲し、提案したところで す。なお、今回の改正案とした趣 旨は前述の通りです。
以下のことが考えられるため、煮干魚類の添加物の規格をCODEX規定の引用に変更するのであれば、添加物の使用量の確認方法及び使用量が正確に管理されているとする判断基準を具体的に示されたい。 ①製品の添加物使用量の正確な記録を求めることは、多くの認定工場が対応できず認定の技術的基準を満たさないおそれがあること。②認定工場が実施可能な添加物の正確な確認手段及び正確なデータとする判断基準が示されないと、認定の技術的基準に適合しているかの判断ができず認定業務に混乱を生ずること。	1	認定製造業者の受入原料に使用される添加物の記録や伝達のあり方については「日本農林規格における食品添加物に係る規定の改正に伴う運用について(平成25年12月13日 25消安第4250号)」に整理されております。その内容については登録認定機関、業界団体を通じて周知をしていきます。なお、ご不明な点があれば、ご相談ください。
煮干魚類は現地で製造され、漁協等における共販を経て、商社、小分け包装業者へと流通している。小分け包装の加工業者では、製造時に使用した添加物の量の把握は困難であり、記録の伝達に関する指導を国によって行って欲しい。	4	
異物		
これまでのJAS規格においても異物の 規定を削除しており、理由として、食品 衛生法に規定されているためと聞いた。 しかし、食品衛生法では、「人の健康を 損なうおそれがあるもの」という条件が あるため、JAS規格では規定すべきであ る。そもそも、異物ときょう雑物はどう 違うのか。また、規格によって「きょう 雑物がないこと。」と「きょう雑物がほ	1	人の健康を損なうおそれがある もの、ないものを含め、異物の混 入は都道府県等が監視指導を実施 していることなどから、JAS規格に 異物混入に関する基準を設ける必 要性は低いとして、順次削除して いるところです。 なお、異物とは製造等の過程で 外部から侵入等したものを指し、

とんどないこと。」があるのはなぜか。	きょう雑物とは主に原材料に由来 する不要物(野菜の皮等)を指し ます。きょう雑物の基準は、食品
	の原料、製造工程等の実態に応じ
	て規格ごとに設定しています。

^{*}その他の意見提出もありましたが、今回の改正案に直接関係のないものでしたのでご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

にんじんジュース及びにんじんミックスジュースの日本農林規格の改正案

- 1. 改正案に係る意見・情報の募集の概要 (募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 1件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2. 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~H28.3.18)

にんじんジュース及びにんじんミックスジュースの日本農林規格の改正案に対し て寄せられた意見の概要及び意見に対する考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
添加物		
添加物の基準を緩めないで欲しい。人工甘味料(特にアセスルファムK、スクラロース)は不味いので認めないで欲しい。にんじんジュース等ではないが、果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。	1	現在の派力のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
異物		
これまでのJAS規格においても異物の 規定を削除しており、理由として、食品 衛生法に規定されているためと聞いた。 しかし、食品衛生法では、「人の健康を 損なうおそれがあるもの」という条件が あるため、JAS規格では規定すべきであ る。そもそも、異物ときょう雑物はどう 違うのか。また、規格によって「きょう 雑物がないこと。」と「きょう雑物がほ とんどないこと。」があるのはなぜか。	1	人の健康を損なうおそれがある 人の健康を損なうおそれがの との、ないものを含め、異物を実施 していることなどから、JAS規格に 異物混入に関する基準を設けして 要性は低いです。 要性はころです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらです。 なおいらに原材料をして、来しまる不要物(野菜の基準は、に、 まで、ます。きょう雑物の基準はに応じて、 まで、 まで、 まで、 まで、 ないの、 ないで、 ないの、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は

合板の日本農林規格の一部改正案

- 1 改正案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.6.2~7.1)
 - (1) 受付件数 2件(法人1)
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~3.17) 受付件数 なし

合板の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に 対する考え方について

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
第6条 構造用合板		
保存処理後に材色が変化する薬剤があるが、 処理後の材色の変化は問題としない旨の表現 を入れる必要はないか。	1	構造用合板の規格には変色に関する基準 は設けていないため、保存処理後の材色 の変化は問題としない旨の表現を入れる 必要はないと考えます。
保存処理を行った場合に、表示事項において、非ホルムアルデヒド系木材保存剤を使用している旨の表示をすることは可能か。	1	保存処理を行った場合においても表示することは可能である旨を明確化することとしました。

^{*} その他の意見提出もありましたが、今回の改正案に直接関係がないものでしたので御意見として 承り、今後の参考とさせていただきます。

集成材の日本農林規格の一部改正案

- 1 改正案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.6.2~7.1)
 - (1) 受付件数 4件(法人1)
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~3.17) 受付件数 なし

集成材の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に 対する考え方について

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方	
第2条 定義			
「保存処理ラミナ」の定義について、MSR 区分後に保存処理を行うことも認める解釈が 発生するため、行為の順序を明確化した方が よい。	1	定義には「保存処理を施したラミナについて、MSR区分したものをいう」とあり、MSR区分を行う前に保存処理済みのラミナであることがわかり、行為の順位が明確になっていると理解されますので、現行どおりとします。	
第5条 構造用集成材			
保存処理を行った場合に、表示事項において、非ホルムアルデヒド系木材保存剤を使用している旨の表示をすることは可能か。	1	保存処理を行った場合においても表示することは可能である旨を明確化することとしました。	
等級区分機で区分されたラミナに対して追加する曲げB試験の判定基準について、表15で示されている値を平均値とし、更に下限値を設けるべきではないのか。(目視等級区分では平均値と下限値を設けているのと同様にすべき)	1	等級区分機で選別した場合の曲げB試験 は確認的に行うものであるから、その判 定基準が、表15の下限値を下回ることは 適当でないと考えます。	
第6条 化粧ばり構造用集成柱			
化粧ばり構造用集成柱についても、化粧薄板の厚さ基準を削除するか、化粧ばり造作用集成材の敷居、かまち等の上面と同様に、化粧薄板の厚さを(1.2mmから)0.6mmとすべきではないか。	1	化粧ばり構造用集成柱の化粧薄板の厚さ 制限を緩和する場合に問題がないかにつ いて確認を行うことが必要であることか ら、今後の検討事項とさせていただきま す。	

^{*} その他の意見提出もありましたが、今回の改正案に直接関係がないものでしたので御意見として 承り、今後の参考とさせていただきます。

りんごストレートピュアジュースの日本農林規格の改正案

- 1. 改正案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 1件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2. 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~H28.3.18)

りんごストレートピュアジュースの日本農林規格の改正案に対して寄せられた意 見の概要及び意見に対する考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
異物		
これまでのJAS規格においても異物の 規定を削除しており、理由として、食品 衛生法に規定されているためと聞いた。 しかし、食品衛生法では、「人の健康を 損なうおそれがあるもの」という条件が あるため、JAS規格では規定すべきでどう あるため、また、規格によっな 違うのか。また、規格によっう 雑物がないこと。」があるのはなぜか。	1	人の健康を損なうおそれがある混なった。 人のはから、JAS規格に必て、 を関いるとなら、JAS規格のでは、 とないのでは、 とないでは、 とないでで、 を制したです。 を制したです。 を制したです。 を制したです。 を制したでで、 を制したに原本ののとは、 をはいるが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、 がいが、

単板積層材の日本農林規格の一部改正案

- 1 改正案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.6.2~7.1)
 - (1) 受付件数 2件(法人1)
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり
- 2 事前意図公告によるコメント (募集期間: H29.1.17~3.17) 受付件数 なし

単板積層材の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に 対する考え方について

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
第4条 構造用単板積層材		
保存処理後に材色が変化する薬剤があるが、 処理後の材色の変化は問題としない旨の表現 を入れる必要はないか。	1	構造用単板積層材の規格には変色に関する基準は設けていないため、保存処理後の材色の変化は問題としない旨の表現を 入れる必要はないと考えます。
保存処理を行った場合に、表示事項において、非ホルムアルデヒド系木材保存剤を使用している旨の表示をすることは可能か。	1	保存処理を行った場合においても表示することは可能である旨を明確化することとしました。

^{*} その他の意見提出もありましたが、今回の改正案に直接関係がないものでしたので御意見として 承り、今後の参考とさせていただきます。

水産物缶詰及び水産物瓶詰の日本農林規格の確認案

- 確認案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 1件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり

水産物缶詰及び水産物瓶詰の日本農林規格の確認案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対する考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
添加物		
人工甘味料(特にアセスルファムK、スクラロース)は不味いので認めないで欲しい。水産物缶詰等ではないが、果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。	1	現在の添加ない。 現在のでは、①ないのでは、②ないのでは、②ないのでは、②ないのではないではないではないではないではないではないではないでは、これではないでは、これではないでは、これでは、一般のでは
その他		
以前に、JAS規格から異物の規定を削除しており、理由として、食品衛生法に規定されているためと聞いた。しかし、食品衛生法では、「人の健康を損なうおそれがあるもの」という条件があるため、JAS規格では規定すべきである。そもそも、異物ときょう雑物はどう違うのか。また、規格によって「きょう雑物がないこと。」と「きょう雑物がほとんどないこと。」があるのはなぜか。	1	人の健康を損なうおそれがある 人の健康を損なうおそれがの混 もの、ないものを含め、異物を実施 入は都道府県等が監視指導をとれることなどから、JAS規格に 異物にとなる基準を設けるして 要性は低いです。 要性はころでとは製造等の過程した。 なおいら侵入とは、異物をものを指します。 外部らでは、裏のとはに原材料をでいます。 外部の基準はににの皮等とはにの皮等にはにないます。 まの原料ににいます。 の規格ごとに設定しています。

果実飲料の日本農林規格の確認案

- 確認案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 1件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり

果実飲料の日本農林規格の確認案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対す る考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方	
添加物			
人工甘味料(特にアセスルファムK、スクラロース)は不味いので認めないで欲しい。自動販売機等であっても、JASマークがあれば入っていないと分かるようにして欲しい。果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。	1	現在の添加物のポジティを削している。 では、①食品衛生法上安全のでは、②な品のをJAS規格のリストでは、②なのをJAS規格のリストでは、一般では、一般では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のである。 をは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のであるでは、一般のであるでは、一般のであるでは、一般のである。 をでいるものでは、一般のでは、一般のでは、一般のであるが、であるでは、一般のであるが、一般のであるが、一般のであるが、一般のでは、一般ので	
その他			
以前に、JAS規格から異物の規定を削除しており、理由として、食品衛生法に規定されているためと聞いた。しかし、食品衛生法では、「人の健康を損なうおそれがあるもの」という条件があるため、JAS規格では規定すべきである。そもそも、異物ときよう雑物はどう違うのか。また、規格によって「きょう雑物がないこと。」と「きょう雑物がほとんどないこと。」があるのはなぜか。	1	人の健康を損なうおそれがある 人の健康を損なうおそれがある 関を含め、異なられる の、なお道のとなどから、JAS規格 となどから、JAS規格 となどから、JAS規格 ではなる基準を削して を設けして、 とないです。 なおいるではとしてが なおいるでは、 をもしたに原材料を はいるで、 なおいう雑物(野菜のを指には がきょう雑物の基準は、 の表するで、 をもいるとは、 ののとは、 をもいるが、 ののとは、 をいるが、 ののとは、 をいるが、 ののとは、 をいるが、 ののとは、 ののと、 のののと、 のののと、 ののと、 のののと、 のののと、 のののののと、 のののののののののの	

農産物缶詰及び農産物瓶詰の日本農林規格の確認案

- 確認案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.5.12~H29.6.12)
 - (1) 受付件数 1件
 - (2) 意見と考え方 別紙のとおり

農産物缶詰及び農産物瓶詰の日本農林規格の確認案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対する考え方について(案)

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方	
添加物			
人工甘味料(特にアセスルファムK、スクラロース)は不味いので認めないで欲しい。農産物缶詰等ではないが、果汁入り飲料では不評であり、人工甘味料なしに戻っている。	1	現在の添加物のポジティさと には、①食品衛生法上安全と的 には、①食品衛生法上安全と的 には、②食品衛生法上大 のをJAS規格のリストルたものをJAS規格のリストルたものをJAS規格のリストルトの のをJAS規格のリストルトで のをJAS規格のリストルトで のをJAS規格のリストルトで のではないのは を展出ないのは といったとします。 といっためるによったがのは をであることがのではあり、 であることがのではあります。 を緩関がしているものではあります。 を機関がしていると をのとしているとのではあります。 を機関がしているとのではあります。 を機関がしているとのといるとは をのといるといるといるといるとは をであるものではあります。 を機関がしているといるといるとは を終めるものではあります。 をおいるといるといるといるといるとは をであるといるといるといるといるとは をではないます。 を関いているといるといるとは をのといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	
その他			
以前に、JAS規格から異物の規定を削除しており、理由として、食品衛生法に規定されているためと聞いた。しかし、食品衛生法では、「人の健康を損なうおそれがあるもの」という条件があるため、JAS規格では規定すべきである。そもそも、異物ときよう雑物はどう違うのか。また、規格によって「きょう雑物がないこと。」と「きょう雑物がほとんどないこと。」があるのはなぜか。	1	人の健康を損なうおそれがある もの、ないものを含め、異物のに 入は都道府県等が監視指導を実施 していることなどから、JAS規格に 異物に関する基準を設けるして 異物に関するとは 要性は低いです。 なお、異物としているとした。 なおいら、 異物としてのを指し、 なおいら、 のを指し、 なおいら、 のを指し、 なおいら、 なおいら、 のを指し、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 ない。 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 なおいら、 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。	

生産情報公表農産物の日本農林規格の確認案

○ 確認案に係る意見・情報の募集の概要(募集期間: H29.5.12~H29.6.12)受付件数 なし